

2月定例教育委員会 会議録	
日 時	令和8年2月12日（木） 午後3時00分～午後3時45分
場 所	本庁舎 9階 会議室9－2
出席委員	松田教育長・末木職務代理人・上原委員・川口委員・岩下委員
出席事務局職員	飯田教育部長・近藤教育総室長（総務課長兼任）・西村生涯学習室長（歴史文化財課長兼任）・大森学校教育課長・山本学事課長・穂山教育施設課長・花輪甲府商業高等学校事務長・浅川甲府商科専門学校事務長・樋田生涯学習課長・長田スポーツ課長・上條国スポ総体課長・宮崎図書館長・菱山総務課課長補佐・林部歴史文化財課主任・坂本総務課主任
傍 聴 人	なし
署名委員	
委員会書記	
・教育委員あいさつ	
・会議録署名委員の氏名 末木職務代理人	
・1月定例会議録の承認 原案のとおり承認	
松田 川口 岩下 末木 上原	
1 開会 松田教育長 これより2月定例教育委員会を開会いたします。 （1）教育委員あいさつ 末木職務代理人 立春も過ぎ梅の花が咲き始めたところに雪が舞うなど、春に向けて一進一退ですが、春が待ち遠しいこの頃であります。一方で、この時期は今年度の事業をまとめ、新年度に向けての準備に取りかかる時であります。 先月末にリッチモンド甲府市総合市民会館で開催された、甲府商科専門学校の地域経済概論の成果発表会に参加しました。地域経済概論は、社会人基礎力の育成を目的に、1年生全員が学科を越えて受講する必修科目であります。授業は、毎年度設定されたテーマについて1年間を通じアクティブラーニングによるグループ研究で実施され、様々なデータを分析しながら課題や現状を捉え、その解決案を研究成果として発表していました。 今年度は、エクシオグループ株式会社及び株式会社N T T ドコモ C S の支援を受け、「リニア山梨県駅周辺のまちづくり」「地域社会のデジタル化と生活者のデジタル活用推進に向けて」を	

テーマに、10チームが研究に取り組み、その成果発表をステージで4チームが行い、エントランスロビーで6チームがポスターにより発表を行いました。

大きなテーマから問うべき課題テーマを絞り込み、データなどにより現状を分析し理解する、そして多面的な視点で検討して解決策を提案する、本当に短期間で成果としてまとめたことに感心し、緊張しながらも自信をもって説明する生徒の姿を頼もしく思いました。

中でも、ICT教育を止めないために「学校教育にAIの相談窓口を」のテーマで取り組んだグループは、デジタル教育の現状把握のため教育委員会への聞き取り調査や学校現場で児童生徒と教員に向けたアンケート調査を行い、課題を析出して解決策を提示し、導入のメリットや今後のロードマップも提案しており、教育委員会で検討できる提案だと思えました。

現代は、インターネットやAIで簡単に答えが見つかるので、より物事を見極めるために、本当にこれでいいのかと問うことが重視されなければならないと思います。教育現場でも「なぜ」「どうして」と問いを深めることが、社会や自然への興味関心を育み、主体的に学ぶことにつながるのではないかと思います。児童生徒が、想像力を働かせた問いを立て、これをしっかりと受け止め考える環境作りの重要性は高まっていると考えます。

地域経済概論の目指すところは、社会人としての基礎力である「考え抜く力、チームで働く力、前に踏み出す力」の育成であり、その成果は発表会に現れていると感じました。今後も是非継続していただきたいと考えています。

成果発表会には3年連続で参加するが、毎回生徒の努力する姿に感心します。今後とも、地域経済に興味と関心を持ち、考え続けることを期待します。

ご清聴有難うございました。

(2) 会議録署名委員の指名

松田教育長

本日の会議録署名委員は、末木職務代理者をお願いいたします。

(3) 前回会議録の承認

松田教育長

1月14日の定例会の会議録について、何かご意見、ご質問はありますでしょうか。
よろしいでしょうか。

【原案どおり承認】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 議題

松田教育長

第3号 甲府遺産の認定及び名称変更について

資料に基づきまして、西村生涯学習室長から説明をお願いします。

(西村生涯学習室長から資料に沿って説明)

松田教育長

説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。
ご意見、ご質問はありますでしょうか。

上原委員

確認させていただきたいのですが、資料15ページの2段目などにあるとおり、菓子製造等に関わる甲府遺産については、メインタイトルに「甲府城下の菓子文化」を添えるように認定や名称変更を行うという認識でよろしいでしょうか。

林部歴史文化財課主任

甲府の城下町の菓子文化をメインタイトルとし、サブタイトルにそれぞれの店舗名等の固有名詞を添えるようにいたしました。

上原委員

わかりました。

そうしますと、共通のテーマが菓子文化となると思いますが、気になった部分としまして、大きな意味では菓子文化というテーマをどの店舗も背負っていると思います。しかし「松林軒の看板」の看板に関しましては、甲府大空襲の戦火に耐えて、その空襲の記憶を住民に伝える歴史資料と聞いていましたので、認定の意味合いとして菓子文化をメインテーマに添えるように変更することに疑問を持っています。

菓子文化という共通のテーマを設定することでカテゴリーが分けられ、菓子文化の深さをより強調される狙いがあるということでしょうか。

林部歴史文化財課主任

はい。

上原委員

わかりました。ありがとうございます。

末木職務代理者

今の件で私も意見があります。

「甲府城下の菓子文化」をメインタイトルに添えることで、カテゴリーを設定するのはよろしいかと思いますが、「松林軒の看板」は、認定の際には、甲府空襲の戦災の記憶だから残すということであったと思います。

なので、今回、名称が変更となると、前回の認定の意味合いがどうなるのかという部分があります。

あともう一点、メインテーマに「甲府城下の菓子文化」を添えるということですが、その菓子文化というのは古ければ良いのか、例えば江戸時代から続いているお店であればどこでもよいのか等、どのような基準で認定を行うのか教えていただければと思います。

西村生涯学習室長

「松林軒の看板」につきましては、戦災を逃れた非常に大切なもの、戦争の悲惨さを伝えるものとしての位置付けは変わりません。ただ、「松林軒の看板」1つでは、こういったものか分かりにくい部分もありますので、戦災を逃れながらも菓子文化を伝えているといった側面も踏まえ、「甲府城下の菓子文化」というメインテーマを付けさせていただいたところであります。

末木職務代理人

わかりました。

あと「甲府城下の菓子文化」という枠組みについて、今後、甲府遺産としての認定をどのように設定するのか、確認させていただければと思います。

林部歴史文化財課主任

「甲府城下の菓子文化」ということで、和菓子文化や洋菓子文化と設定しなかったのも一つございまして、江戸時代以降、甲府に城下町が整備され、和菓子・洋菓子が発展してきたという文化も甲府の特徴であります。

その文化の中で発展してきたお店が現在まで同じ場所ですっと続いている等、その場所自体も歴史性があるものとして捉えることや、売っている商品等を総合的に考え、今後、甲府遺産としての認定を行っていくことを想定しています。

「松林軒の看板」につきましては、現在は、空襲80年、昭和100周年という歴史的なことも踏まえて認定されておりますので、現在は看板の部分を甲府遺産として認定させていただき、今後、総合的に考える中で、再度検討していくということを甲府遺産認定審査会の先生方も仰っております。

松田教育長

よろしいでしょうか。

それでは、原案のとおり決定ということでよろしいでしょうか。

【原案のとおり決定】

(教育委員会決定)

松田教育長

第4号 令和7年度 甲府市武田氏館跡歴史館の臨時休館について
資料に基づきまして、西村生涯学習室長から説明をお願いします。
(西村生涯学習室長から資料に沿って説明)

松田教育長

説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

ご意見、ご質問はありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、原案のとおり決定ということでよろしいでしょうか。

【原案のとおり決定】

(教育委員会決定)

(2) 報告

松田教育長

第2号 なでしこ賞・撫子賞の表彰について

資料に基づきまして、大森学校教育課長から説明をお願いします。

(大森学校教育課長から資料に沿って説明)

松田教育長

説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

ご意見、ご質問はありますか。

岩下委員

「なでしこ賞・撫子賞」について意見を述べさせていただきたいと思います。

「なでしこ賞・撫子賞」は目に見える、見やすい結果だけではなくて、日頃の思いやりや善行に光を当てる甲府市独自の表彰制度で、甲府市の教育の中核に位置付けており、思い遣る心を具体化する、とても良い制度であると思っています。

学校生活の中では、学習、スポーツ及び文化芸術面などで、周りの子どもたちから認められたり、或いは学校から表彰されたりする機会は多くありますが、なかなか注目されにくい子どもの良さを認め、肯定して励ます機会というのは多くないと考えています。

目立たない活動や行動が学校や地域から認められるということは、その子どもたちにとって、大きな励みとなると思います。受賞をきっかけに、これからも思いやりの気持ちを持ち続けたいという前向きな意欲や自己肯定感を育むことも期待できると思います。

推薦に関して、先ほど大森学校教育課長のお話がありましたが、かつて、学校によっては推薦者がなかなか見つからないとか、或いは特定の委員会を充てているという話を聞いたこともありました。

子どもたちと学校生活をともに過ごしている先生方が、子どもたちと、より丁寧に関わっていく中で、子どもたちをより多面的にとらえていくよう、視点を広げていくことも大切であると思っています。

以上です。

松田教育長

ありがとうございました。

今後も、各学校でしっかりと子どもたちを見て、受賞の対象となるように推薦していただきたいと思います。

その他、ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは確認しました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

3 その他

松田教育長

その他になりますが、何かございますか。

4 閉会

松田教育長

以上をもちまして、2月定例教育委員会を閉会します。